

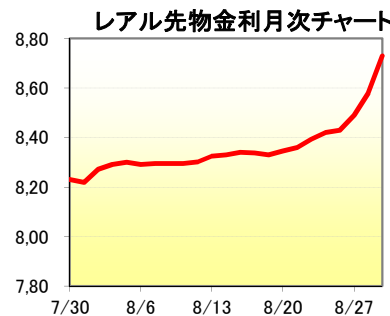
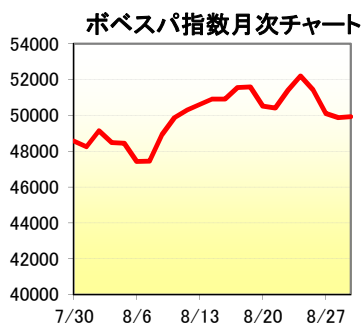
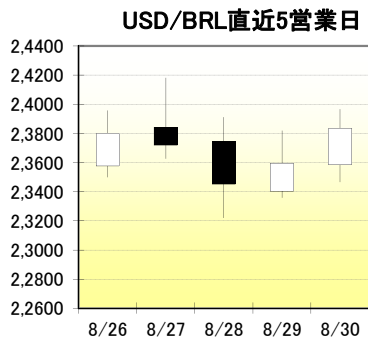
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			8月26日	8月27日	8月28日	8月29日	8月30日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3860	2,3710	2,3460	2,3790	2,3820	+0,0030
	USD/YEN	Spot	98,45	97,02	97,69	98,36	98,17	-0,1900
	EUR/USD	Spot	1,3378	1,3390	1,3342	1,3242	1,3214	-0,0028
	BRL/YEN	Spot	41,37	40,90	41,66	41,68	41,14	-0,5400
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,80	1,61	1,50	1,63	1,66	+0,0266
		1Year(p.a.)	2,13	2,91	1,77	1,85	1,92	+0,0659
	Real Interest	6MTH(p.a.)	9,46	9,45	9,41	9,51	9,56	+0,0481
		1Year(p.a.)	9,97	10,00	9,94	9,97	10,19	+0,2250
Stock	Bovespa		51.429	50.092	49.867	49.922	50.008	+86,50
Bond	CDS Brazil 5y		199,17	203,00	204,50	203,15	206,86	+3,7080
	Global 40		118,000	118,000	118,000	117,250	117,250	u,c,

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
GDP(前期比,2Q)	0.9%	1.5%	0.6%	マンテガ伯財務相 ブラジルにはレアル安を 阻止するツールがまだ数 多くある
GDP(前年比,2Q)	2.5%	3.3%	1.9%	
純債務対GDP比(7月)	34.1%	34.1%	34.5%	
基礎的財政収支(7月)	5.0B	2.3B	5.4B	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$2.3580で寄り付いた。
- 週初は伯中銀がドル売り介入を実施し、レアルは2.3500まで上昇するも、大口の資金流出の噂が聞かれるとレアルは一気に2.3960まで下落した。
- 翌27日にはシリアでの混乱で軍事衝突が激しさを増すとの懸念からリスク資産の売りが見られるとエマージング通貨も大きく下落し、レアルは週間安値となるUS\$1=R\$2.4180を付けた。しかし伯中銀がドル売り介入を実施したほか、大口の資金流入の噂が聞かれると、レアルは2.36台前半まで反発した。
- 週央にかけても伯中銀によるドル売り介入の実施に加え、大口の資金流入の噂が聞かれるとレアルは続伸、週間高値となるUS\$1=R\$2.3220を付けた。マーケット時間終了後にはブラジル中銀による50bpの利上げが発表され、ブラジルの政策金利(SELIC)は市場の予想通り9.00%となった。
- 翌29日には米第2四半期GDPが予想を上回ったことから米金融緩和が早期縮小されるとの懸念が再燃し、レアルは一気に2.36台半ばまで反落した。更に大口の資金流出の噂が聞かれるとレアル売りに圧力がかかり、レアルは2.3790まで続落した。尚、マーケット時間終了後に伯中銀は明日に予定されている信用枠入れのほか、ドル売りスワップ入れも実施すると通知したことを受けてレアルは2.36台半ばまで反発した。
- 週末にかけては上記介入通知を受けてレアルは続伸するも、直後から予想比良好な結果となった米経済指標などを受けてレアルは一気に2.3800を下抜けて反落した後引けにかけて続落したが、伯中銀が来週の月曜日に通常の5億ドル分のドル売り介入に追加する形で10億ドルのドル売り介入を実施すると通知したことを受けてレアルは反発、結局US\$1=R\$2.3820で越えた。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
9/2	FGV CPI IPC-S	Aug 31	0.25%	0.16%
9/2	製造業購買担当者指数	Aug	--	48.5
9/2	貿易収支(月次)	Aug	--	-\$1897M
9/2	総輸出	Aug	--	\$20807M
9/2	総輸入	Aug	--	\$22704M
9/2	Trade Balance Weekly	Sep 1	--	\$880M
9/3	鉱工業生産(前月比)	Jul	-1.3%	1.9%
9/3	鉱工業生産(前年比)	Jul	2.6%	3.1%
9/4	FIPE消費者物価指数(月次)	Aug	--	-0.13%
9/4	PMIサービス業	Aug	--	50.3
9/5	COPOM Monetary Policy Meeting Minutes			
9/5	自動車生産台数(ブラジル自動車工業)	Aug	--	312300
9/5	自動車販売台数(ブラジル自動車工業)	Aug	--	342306
9/5	自動車輸出(ブラジル自動車工業会)	Aug	--	52456
8/30	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Aug	0.20%	0.14%
8/30	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	Aug	0.25%	0.03%
8/30	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Aug	6.10%	6.27%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.33-2.43

今週は米金融緩和よりもシリア情勢が注目され、リスク回避の動きからエマージング通貨は大きく売られる展開となり、レアルは2.4180まで下落した。リスク資産が連日売られる中、レアルは大口の資金流入を受けて2.32台前半まで回復した。しかしシリアへの軍事行動観測が後退しリスク資産が買い戻される一方で、伯中銀がドル売り介入を実施しながらもレアル売り圧力は弱まらず、レアルは2.39台まで反落した。伯中銀は年末までのドル売り介入の実施のほかに、積極的に追加のドル売り介入も実施しており、行き過ぎたレアル安を許容しないとのスタンスを示しているが、市場では中銀のスタンスがレアル安に歯止めをかけるには不十分であると指摘する声も聞かれている。来週は国内ではCOPOM議事録などが注目され、海外ではシリア情勢の動向に加えて、米量的緩和の縮小時期を見極める上で鍵となる雇用統計などの経済指標や米国各地で多数の米地区連銀総裁のスピーチが予定されている。これらの内容次第でレアル相場は引き続き大きく動く可能性があり、足許ではボラティリティーが高い状態が続くであろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department